

第 24 回 東京障害者技能競技大会

ホームページ競技 事前課題

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構東京支部
東 京 都

1. 競技の概要

競技当日、競技者には競技開始と同時に 1 ページ分の仕様が公開される。また、そのページを作成するのに必要な半分完成済みの html ソースコードファイル、css ファイル及び画像ファイルが提供される。競技者は、仕様に従い、与えられた html ソースコードおよび css ファイルを編集して、説明文を加えたりしながらホームページを完成させる。

よって、競技は当日のみであり事前に作品を作成する必要は無いが、事前にイラストやアニメーションを作成し CD や DVD に入れて持参し使用しても良い。ただし事前に用意した素材そのものは採点の対象にはならない。また、持参して良いのは画像ファイルのみであり、事前に作成したテキストやソースコードを持ち込むことはできない。

2. 課題

(1) 提供する素材

競技者が競技開始と同時に利用できる素材は次の様に用意されている。

[競技素材] ┣ index.html
 ┃ 最低限の記述がされた html ファイル
 ┣ [css] ┣ style.css
 ┃ 最低限の記述がされた css ファイル
 ┣ [img] ┣ (数点)
 ┃ 画像ファイルが数点 (png)

(2) 仕様

HTML の基準

- HTML5 を使用し、セマンティックなマークアップ（例: <header>, <main>, <section>）を適切に活用すること。
- コードは正しく文法に従って記述すること。

CSS の基準

- CSS を使用し、レイアウトやデザインを調整すること。
- メディアクエリを使用して、レスポンシブデザインを実装すること。

アクセシビリティ

- 少なくとも WCAG 2.0、可能ならば WCAG 2.2 の達成基準を満たすこと。

ユニバーサルデザインの理念に基づき、以下を考慮すること

- 視覚障害を持つユーザーや色弱者に配慮した配色とする。
- 簡潔で明確なデザイン構成を心掛ける。
- 動画やアニメーションを使用する場合は、再生制御をユーザーに委ねる。

ページ構成

- 競技用素材を自由に変更しても構わないが、テーマを大きく変えることはしない。
- ページ数は 1 ページでも構わないが、増やしても良い。
- 競技者独自のセクションを追加することは奨励される。

技術要件

- 外部ライブラリやフレームワーク（例: Bootstrap、jQuery）は使用不可。
- JavaScript を使用して、軽微なインタラクティブ要素を追加することは許可される（例: ホバーエフェクト）。

納品形式

- 提供された index.html と style.css を編集し、競技終了後にすべてのファイルを作品フォルダに保存して提出すること。
- 提出ファイルはブラウザ（Chrome または Edge）で適切に表示されること。

(3) 提供される競技素材をブラウザで閲覧したイメージ

フォルダ[競技素材]に入っている index.html をブラウザで開くと次の様に表示される。
これを[作品]というフォルダを作りそこにコピーし、改善を加え競技者の作品を完成させる。

European Accessibility Act (EAA) について



[EAAとは何か](#)
[EAAの対象の例](#)
[日本のWeb制作への影響](#)

EAAとは何か

項目	内容
従来の状況	国ごとにバラバラ、公共分野中心
EAAの方向性	EU全体でルールを揃える動き

EAA は European Accessibility Act の略で、2019 年に採択された EU の指令です。2025 年 6 月 28 日から実際の適用が始まり、EU 市場では新しいアクセシビリティ要件が本格的に求められるようになりました。加盟国が自国の法律に反映し、より多くの人が製品やサービスを利用できるようにすることを目的としており、対象には Web、アプリ、電子書籍、オンラインショッピングなどのデジタル分野も含まれます。

ヨーロッパでは国ごとにアクセシビリティのルールが異なり、公共分野中心の対応でした。国境を越えて使われるサービスが増える中、この違いはユーザーにも企業にも分かりにくさやコストを生みました。特に EC サイトやオンライン予約などで、国によって使いやすさに大きな差があることが問題視され、EAA はこの状況を整えるために導入された背景があります。

EAAの対象の例

- ・コンピュータやスマートフォンのような機器
- ・その上で動くソフトウェアやアプリケーション
- ・電子書籍リーダーや電子書籍サービス
- ・ATMや発券機のような装置
- ・オンラインで商品やサービスを販売するプラットフォームなど

EAA の対象は行政に限らず、民間企業の製品やサービスにも広く及びます。コンピュータやスマートフォン、その上で動くアプリや電子書籍リーダー、ATM や発券機、オンラインで商品を販売するプラットフォームなど、日常的に使う多くのものが含まれます。Web やアプリの制作者にとって、自分の制作物が EU 市場で提供される製品やサービスの一部となる可能性があるということです。

(続く)

考えられる影響

- ・EU向けサイトの案件でアクセシビリティが必須に近づく
- ・グローバル企業のガイドラインがEAA前提で更新される
- ・「アクセシビリティ対応」が商談の前提条件になる

アクセシビリティには国際ガイドラインの WCAG があり、EU でも日本でもこれを参照して制度が整備されてきました。EAA 自体は細かい技術仕様までは書いていませんが、実際の要件は WCAG や欧州規格が参照されることが多く、「EAAだから全く新しい対応が必要」というより、これまで任意だった対応が前提条件になっていくと考えるほうが分かりやすいかもしれません。

詳細な説明 [+]

日本のWeb制作への影響

日本の Web 制作会社にとっても EAA は無関係ではありません。日本から EU 向けにサービスを提供する企業は多く、日本企業の製品やシステムが現地法人やパートナーを通じて EU で使われるケースもあります。その際、EAA の要件を満たしていないと市場参入が難しくなったり不利になる可能性があります。また、直接 EU 向け案件でなくても、グローバル企業のガイドラインが EAA を踏まえて強化されることがあります。

— フッターエリア —

作品に関する補足

このファイルは競技用の素材です。これを元に選手は自由に改変を行い作品を作成してください。
また、作品のアピールポイントについて、箇条書きで記述してください。

- ・ (アピールポイント)
- ・ (アピールポイント)
- ・ (アピールポイント)

(ここまで)

[補足]

- 見た目では見出しや箇条書きに見えても、ソースコードが適切に記述されているとは限らない。
- 「詳細な説明」はクリックすると 10 行程度の追加テキストが展開される。
- css ファイルは別ファイル (style.css) で提供される。
- script は html ファイルに含まれている。(分離しても良い)

(4) 競技中にすること

index.html と style.css を改善し「完成イメージ」と同等以上になるようにする。

まったく同じになることを求めているのではない。むしろ、競技者の工夫によるさらなる改善が望まれる。

予め用意された競技素材はアクセシビリティの問題が多数あるので改善しつつ、より良いデザインを目指すこと。

競技終了後には DVD-RW に書き込みまで完了した作品を速やかに提出できるようにする。

(DVD-RW は事務局から提供される。提出は 1 枚のみ。)

[禁止されること]

- 採点を困難にするほどの構成の変更。

[許されること]

- 画像の変更、説明文の変更・追加。
- 新たなコンテンツの追加（イラストや動画を含む）

[推奨されること]

- フッターより下に「作品に関する補足」セクションを追加し、成果物の簡単な説明を個条書きで入れること。

(5) 競技時間

90 分

(6) 作品の提出

競技終了後には作品を所定のフォルダに保存すること。

保存した index.html を開くと、そのまま閲覧できるようにしておくこと。

3. 採点基準

- 基礎力：課題の仕様を満たしていること。
- 技術力：html の文法に従って記述していること。
- 提案・訴求力：作品のテーマについて競技者のアピールポイントが伝わってくること。
- 独創性：作成されたページに競技者独自のユニークさがあること。
- 芸術性：人を惹きつけるデザインと障がいの有無に関係なく誰でも利用できるように配慮されていること。

※ 採点は当日の成果物に対して行われる。持参したイラスト自体は採点の対象にはならないが、競技者の理解や思いを示すものであることが望ましい。

4. 注意事項

- 競技に使用するパソコン、OS、ソフトウェアは、主催者側で用意したものとする。
イラストやアニメーションを持参した場合は主催者側の許可を得て競技前に競技用 PC にコピーすること。
- 支援技術の導入が必要な場合は予め主催者側に申し出る。
- 競技パソコンの Windows に標準インストールされているソフトウェアは自由に使用して良い
(使用方法等の質問には対応はしない)
- 市販の参考図書は何冊でも持ち込みを認める。全部あるいは一部を点訳したものでも構わない
(持ち込む参考図書は、当日内容を確認する)
- ノートやメモ紙、印刷物などの紙媒体の持ち込みは認めない。
- 競技開始前に機器等について十分な動作確認を行っておくこと。競技中に機器等の不具合があっても、時間の延長は一切できない。
- 競技中機器等に不具合が生じた場合は、速やかに競技委員に申し出ること。
- 採点は各選手が使用した PC で行われるので、競技後、席を離れたあとでも稼動する状態にしておくこと。
- その他については、競技委員の指示に従うこと。